

区分	チェック項目	はい	いいえ	未定している点	評価や改善すべき点を踏まえた改善内容は改善目標
環境・体制整備	1 利用者が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7		集団参加を基本とし、そこを目指すものの個室利用、個別支援も行っている。	
	2 職員配置数は適切であるか	7		チーム運営を常に念頭に置き、必要職員を適切に配置するにあたって適切な職員配置を心がけている。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすい環境も整えられているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっているか	7			コロナ禍において、感染拡大防止への対策を引き続き行っている。
事業改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか	7		1人1人の負担が重くなり過ぎないように、職員を明確にし分業を行うようしている。	
	6 保護者等向け研修会により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等と関係性を築き、業務改善につなげているか	7			
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の活動やホームページ等で公開しているか	7			
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6			外部評価を行っていたら改善点を作っていく必要がある。
	9 職員の資力の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6		月1回、ケース会議の時間をしっかりと確保し、研修を兼ねた話し合いの場を大切にしている。	
	10 アセスメント適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析し、児童発達支援計画を作成しているか	7		全体で話し合い共有しながら、現場責任者が中心となり作成している。	
	11 子ども達の発達の状況を踏まえて、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援が「アソビ」(児童発達支援の提供「不特定支援」)「発達支援(本人支援及び移行支援)」「保健支援」「地域支援」(必ず支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、そのうち、最終的に支援内容が決定している)	7			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	7		その目的や子どもの体調や様子も考慮しながら、可能な範囲で目標達成が期待できるような配慮を行い、活動内容を考えようとしている。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			
	16 子ども達の状況に応じて、個別活動と集団活動を連携し合わせて児童発達支援計画を作成しているか	7			
適切な支援の提供	17 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割について確認しているか	7			その人ごとの特徴や得意で得意なことから始めよう、職員間のコミュニケーションを大切にしている。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、良かった点等を共有しているか	7		お子さんの特徴、支援者の交代を行い、その日の振り返りを共有できている。その際、次の日の支援についても考えをまとめるよう心がけている。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7		支援目標にケース記録も追加し、誰が見ても理解が深まるよう、分かり易い記録を心がけている。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しを必要に応じて行っているか	7			
	21 児童発達支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した者も参加しているか	6			
	22 母子保護や子ども子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6			
	23 「医療的ケアが必要な子どもや身体心身の障害のある子ども等も支援している場合」当該の医療、保健、児童福祉、教育、児童福祉関係機関と連携した支援を行っているか	3	1		
	24 「医療的ケアが必要な子どもや身体心身の障害のある子ども等も支援している場合」子どもの主治医や協力医療機関等と連携体制を整えているか	3	1		
関係機関や保護者との連携	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7		保育所等訪問を活用し、現場同士が繋がりが支援の共有が出来るよう、必要に応じて定期訪問を行っていただいている。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学校部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7			
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6			
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	4	コロナ禍の現状としては、活動として出向いた公園での出会いを大切に考えている。	
	29 「(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等」積極的に参加しているか	3	1		
	30 日頃から子ども達の状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	6			
	32 運営規程、利用書負担等について丁寧な説明を行っているか	6			
	33 児童発達支援が「アソビ」(児童発達支援の提供「不特定支援」)のほかに「移行支援」(本人支援及び移行支援)「保健支援」(必ず支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、そのうち、最終的に支援内容が決定している)	7			
	34 定期的に、保護者からの子育てでの悩み等に対する相談に適切に対応し、必要な助言や支援を行っているか	6		保護者とのコミュニケーションは大切に、誰にでも安心して話を聞けるように、声かけを行っていただいている。	
関係機関との関係性	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6		不定期だが、母会会費を減らしている(保護者のお楽しみ会)。	
	36 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に通知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6		苦情についてなど、いつでも何でも気軽に相談していただけるよう、声かけを行っていただいている。	
	37 定期的に情報等を発信し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			
	38 個人情報取扱いに十分注意しているか	6			
事業所への説明責任	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っているか	2	2		
	41 施設評価シート(児童発達支援センター)を定期的にモニタリングを実施し、必要に応じてモニタリング結果を踏まえ、改善を促すよう指導を実施しているか	4			事業所として統一化されたモニタリングの周知徹底を要する必要がある。
	42 児童支援の発生に備え、定期的に避難、救急その他必要な訓練を行っているか	6			
事業所などの対応	43 事前に、職業や学級支援、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6			
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか	7			
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7		その日のうちに当事者に報告書を作成してもらい、各スタッフの共有と共有について話し合い可能な限り行っている。報告書が作成できたら、1周目からは文書版でも共有を図っている。	
	46 虐待を防止するため、職員研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	3	その支援、保護者に見えたらまずか？を合言葉として、互いに良い意味で指摘し合える雰囲気作りを大切にしている。	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、定期的に話し、子どもや保護者と一緒に十分説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記録しているか	7			